

連合神奈川「ピースウィーク行動」にご参加の皆様の日頃からの平和への取組に対し、心より敬意を表します。

「核兵器も戦争もない平和な世界」の実現を目指し、安心して暮らすことができる世の中を世界人類が願っているにもかかわらず、世界各地では紛争やテロが続き、尊い命が奪われるなど、恒久平和は実現していません。また、多数の核兵器が蓄積・配備されている状況も続いています。

三浦市では、昭和29年の太平洋ビキニ環礁における水爆実験により、三崎港から出漁していたマグロ船が被爆し、マグロ船主と市場経済は大混乱になったという、悲惨な体験をしています。

そのような歴史的体験をふまえ、本市では平成3年に非核三原則の完全なる遵守を求め、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を願う「核兵器廃絶平和都市宣言」を行い、翌年には「折鶴」をモチーフとした平和祈念モニュメントを建立しました。また、「平和首長会議」へ加入し、平和を愛する心を次の世代へ繋いでいけるように願いを込め、非核・平和に向けた活動を進めております。

核兵器を廃絶し、真の恒久平和を実現することは、世界で唯一の被爆国である日本の、そして人類普遍の願いであり、同時に私たちの責務でもあります。

これからも、地球環境の保全や核兵器廃絶の実現を訴え、子々孫々が安全で安心して暮らせるこの美しい地球を守り、恒久平和の実現をめざして努力して行きたいと思えます。

終わりに、このたびの平和行進に参加されます皆様のご無事と、平和を祈る取組が必ずや世界平和の礎となりますよう祈念し、あいさついたします。

令和2年8月1日

三浦市長 吉田英男